

堺市14病院で『災害研修DT-H』を実施しました！

日 時：2017年8月9日（水）、10日（木）17：30～20：00
11日（金）13：30～16：00

場 所：堺市立総合医療センター(大阪府堺市西区家原寺町1-1-1)

主 催：堺市立総合医療センター,摂南大学理工学部建築防災研究室

参加者：南堺病院（2班）、阪堺病院（2班）、日野病院（2班）、阪南病院（2班）、
堺市立総合医療センター、浅香山病院、邦和病院、和泉北陣内病院、
ベルランド総合病院、吉川病院、大阪労災病院、植木病院、耳原総合病院、美原病院

ファシリテーター：建築学科生10名＋大学院生2名＋教職員3名（計15名）

今回の見どころ

DT-Hとは、病院建築被害を想定した事務系職員対象の災害研修です。2014年に山形県立中央病院で初めて実施し、兵庫県と福島県あわせ合計15病院で実施しました。今回の研修では、堺市内2次医療圏内21病院の内、14病院で実施することになり、初めて地域で実施するDT-Hとなります。病院によって津波被害の有無の違いがあったり、精神系病院が含まれるなど様々な病院が参加します。

プログラム実施風景



研修の目的や進め方を摂南大学生や先生から説明しました。



事前に自病院で何が起こるかを話し合ってもらいました。



事案カードを順次配布していき、どう対処するか書いてもらいます。



自病院の図面を用いて対応を具体的に書き込んでもらいました。



全ての事案カード終了後、振り返りシートを書いてもらいました。



最後に、全事案カードの結果と改善策を発表してもらいました。

プログラムの実施結果

今回の研修では14病院で診療科が異なり、各々違った対応をしなければいけませんでした。その際、経験している人が先導している班もありました。研修中は、全員でお互いの意見を聞くことの難しさがよくわかり、実災害時にはもっと混乱することが実感できました。ところで、今回が私の初めてのイベント参加だったので、4年生の邪魔にならないようにするのが精一杯でした。1日目は、4年生のサポートを行ったのですが、2日目は、私が1班を担当することになり、1日目の4年生の動き方などを思い出しながら務め、無事に研修を終えたことが何よりの思い出です。

参加していただいた14病院の皆様ご協力ありがとうございました。皆様に心から感謝申し上げます。